

平成 23 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部

## は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき 22 市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、平成 23 年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、ご協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

平成 24 年 3 月

青森県農林水産部長 渋谷 義仁

# 目 次

調査の要領	1
-------	---

結果の概要	2
-------	---

## 対前年比較表

第 1 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 カ年平均比）	12
第 3 表	月別漁獲数量比較表	14
第 4 表	月別漁獲金額比較表	14
第 5 表	分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表	分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表	主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表	主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表	漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表	漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表	市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表	市町村別漁獲金額比較表	21

## 県計表

第 1 表	年 総 括 表	22
第 2 表	月 別 表	36

## 市町村計表

第 1 表	魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表	漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	66
第 3 表	月別漁獲数量及び漁獲金額	73

# 調 査 の 要 領

## 1. 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

## 2. 調査時期

毎 月

## 3. 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

## 4. 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

## 5. 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は 100%にならない場合があります。

## 結果の概要

### 1. 漁獲数量及び漁獲金額

#### (1) 概況

平成23年の青森県の漁獲数量は194,265トンで、漁獲金額は461億1,808万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量で52,425トン(21.3%)減少し、漁獲金額で57億720万円(11.0%)減少した(表1)。

#### (2) 主な増減要因

漁獲数量及び金額が前年と比較して減少した主な要因は、平成22年の夏季に発生した異常高水温により、陸奥湾内のほたてがいが大量へい死し、「ほたてがい(稚貝・半成貝・新貝・成貝)」の生産量が減少したことや「あかいか(海外)」等の漁獲量が大幅に減少したことによるものである。また、東日本大震災の発生で、太平洋側を中心に漁船や漁具等が大きな被害を受け、漁業操業が停止した事による影響も見られた。

#### (3) 過去5年間の平均との比較

過去5年間の平均と比較して、漁獲が好調であった魚種は「まいわし」(漁獲量対平年比759.4%)、「かつお」(424.3%)、「さんま」(262.9%)、「からふとます」(192.1%)、「そうはちがれい」(162.1%)等であった。一方、漁獲が低調であった魚種は「ほっけ」(20.9%)、「あかがい」(22.7%)、「ほたてがい(新貝・成貝)」(25.5%)、「くるまえび」(27.3%)、「さざえ」(29.4%)等であった(表2)。

#### (4) 過去10年間の平均との比較

平成23年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去10年間の平均と比較すると数量で33.7%、金額で16.8%、それぞれ下回っている。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁獲数量		漁獲金額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
平成13年	365,702	△4.1	58,734	△12.9
平成14年	327,486	△10.5	58,461	△0.5
平成15年	281,057	△14.2	51,812	△11.4
平成16年	296,063	5.3	60,606	17.0
平成17年	289,662	△2.2	56,914	△6.1
平成18年	278,430	△3.9	54,675	△3.9
平成19年	295,695	6.2	57,217	4.6
平成20年	261,354	△11.6	53,171	△7.1
平成21年	289,027	10.6	51,187	△3.7
平成22年	246,690	△14.6	51,825	1.2
平成23年	194,265	△21.3	46,118	△11.0
平成13年～平成22年 までの平均(A)	293,117		55,460	
平成23年/(A)%	66.3%		83.2%	

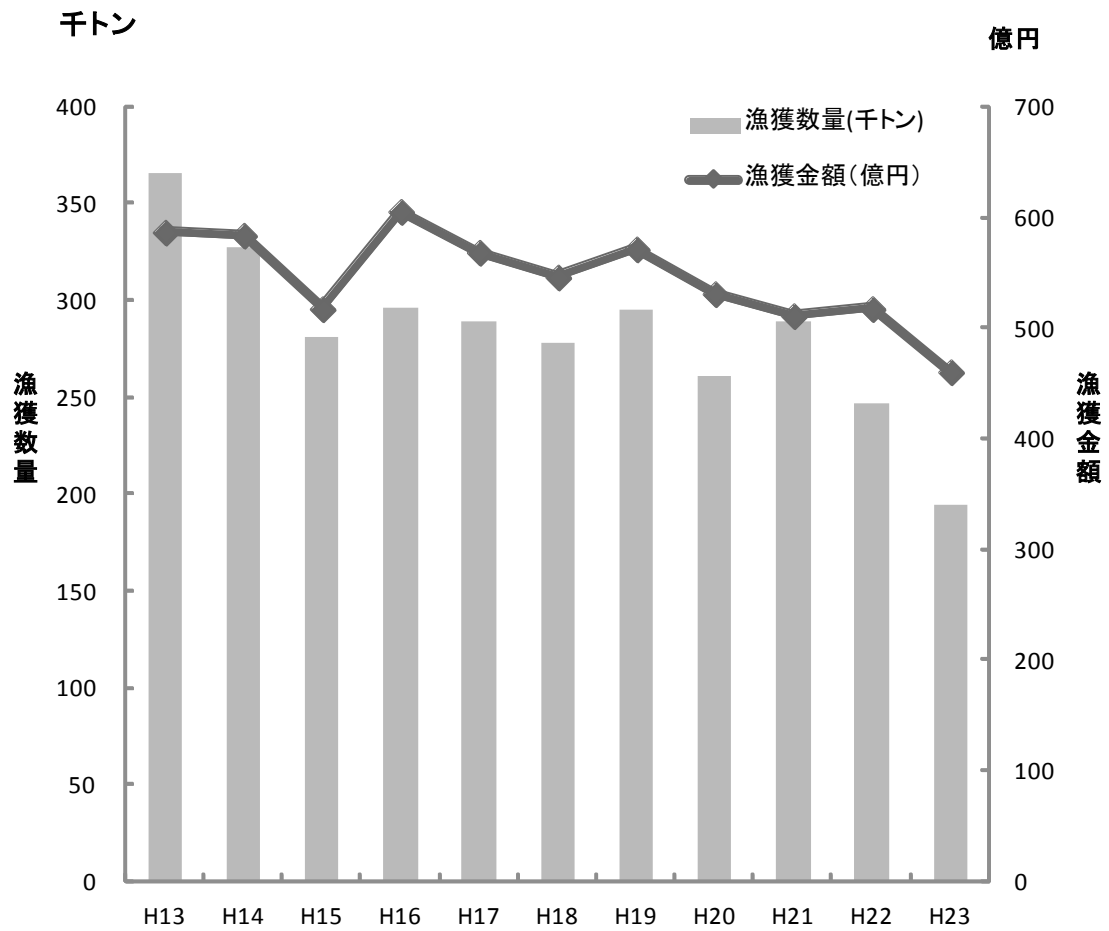


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

## 2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 月別漁獲数量

平成 23 年の漁獲数量を月別にみると、11 月が 31,845 トンで最も多く全体の 16.4% を占め、次いで 10 月の 23,938 トン (12.3%)、9 月の 23,573 トン (12.1%) となっている (図 2、第 3 表)。

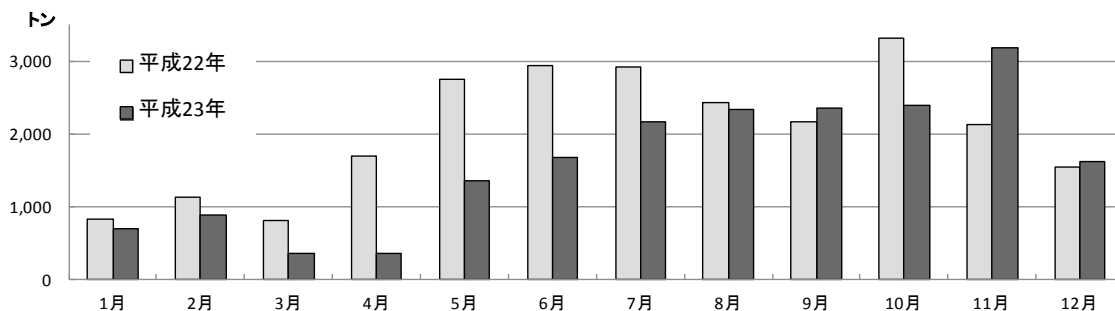


図 2 月別漁獲数量

### (2) 月別漁獲金額

平成 23 年の漁獲金額を月別にみると、11 月が 61 億 8,241 万円で最も多く全体の 13.4% を占め、次いで 8 月の 53 億 7,439 万円 (11.7%)、10 月の 48 億 1,002 万円 (10.4%) となっている (図 3、第 4 表)。

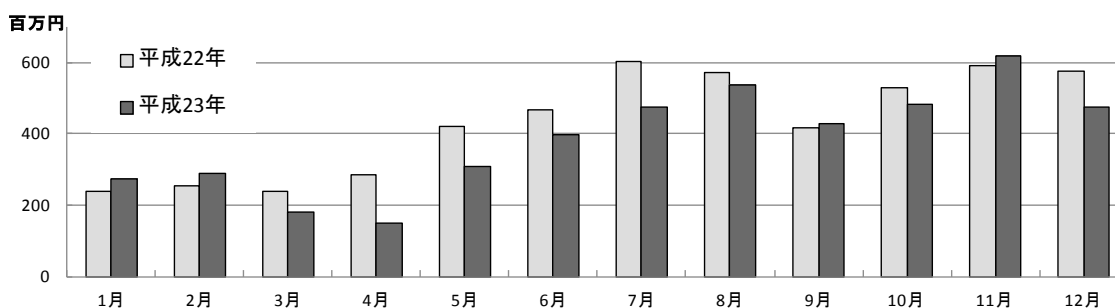


図 3 月別漁獲金額

### 3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

#### (1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

##### ①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、さば等の「魚類」が83,564トンで最も多く全体の43.0%を占め、次いでいか類等の「その他の水産動物」73,443トン(37.8%)、「貝類」33,674トン(17.3%)、「藻類」3,583トン(1.8%)の順となっている(図4、第5表)。

これを前年と比較すると、「魚類」は11,475トン(15.9%)増加、「その他の水産動物」は7,200トン(8.9%)減少、「貝類」は58,227トン(63.4%)減少、「藻類」は1,527トン(74.3%)増加した。

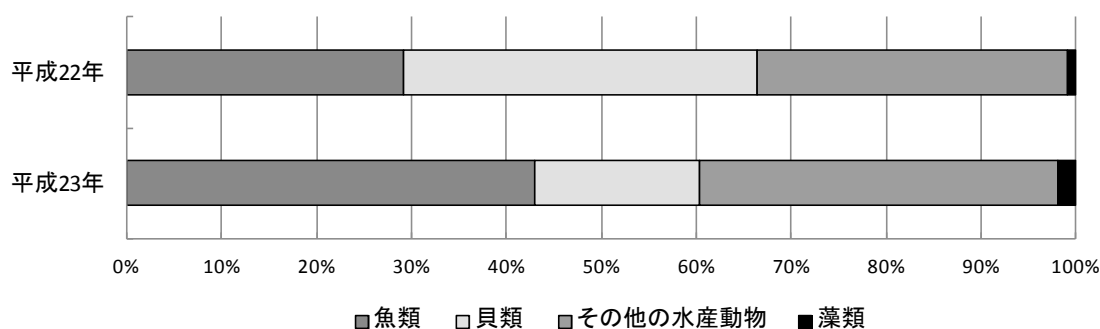


図4 分類別漁獲数量の構成比

##### ②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が219億9,068万円で最も多く全体の47.7%を占め、次いで「魚類」159億8,517万円(34.7%)、「貝類」71億7,375万円(15.6%)、「藻類」9億6,847万円(2.1%)の順となっている(図5、第6表)。

これを前年と比較すると、「その他の水産動物」は13億1,551万円(5.6%)減少し、「魚類」は7,267万円(0.5%)減少し、「貝類」は47億7,180万円(39.9%)減少し、「藻類」は4億5,278万円(87.8%)増加した。

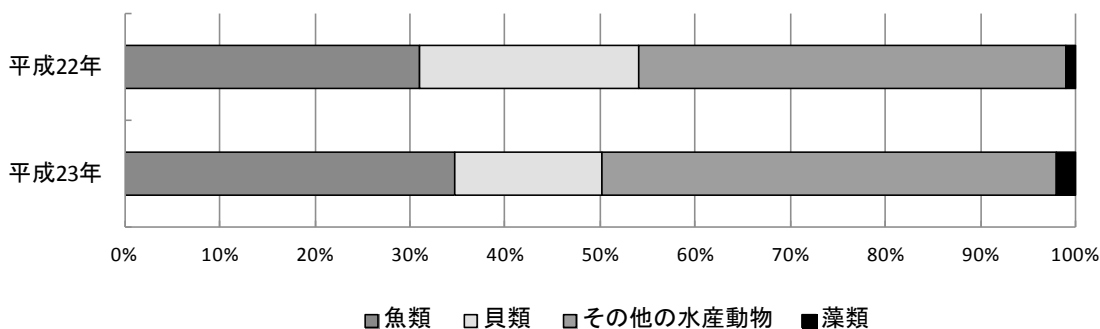


図5 分類別漁獲金額の構成比



(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「するめいか」57,314 トン（構成比29.5%）、「さば」51,663 トン（26.6%）、「ほたてがい」32,538 トン（16.7%）、「あかいか」10,579 トン（5.4%）、「たら」4,498 トン（2.3%）、「すけとうたら」4,475 トン（2.3%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「さば」15,045 トン（対前年増減率41.1%）、「いわし類」1,354 トン（46.8%）、「こんぶ」1,286 トン（97.0%）、「するめいか」536 トン（0.9%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「ほたてがい」58,084 トン（対前年増減率△64.1%）、「あかいか」7,392 トン（△41.1%）、「さけ」975 トン（△22.6%）、「ぶり」732 トン（△20.8%）となっている（図6、第1表、第7表）。

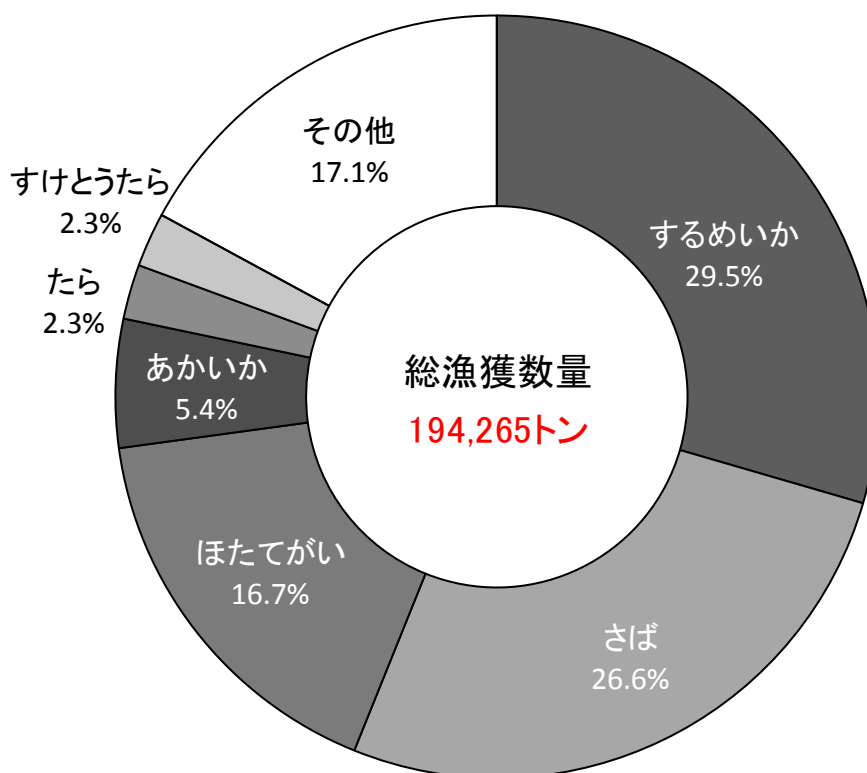


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

## ②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「するめいか」136億9,463万円（構成比29.7%）、「ほたてがい」64億857万円（13.9%）、「さば」44億2,787万円（9.6%）、「なまこ」34億2,617万円（7.4%）、「あかいか」25億656万円（5.4%）、「まぐろ」23億6,004万円（5.1%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「さば」12億4,633万円（対前年増減率39.2%）、「こんぶ」3億4,172万円（125.9%）、「まぐろ」2億3,606万円（11.1%）、「なまこ」2億287万円（6.3%）となっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「ほたてがい」49億4,939万円（△43.6%）、「あかいか」11億2,379万円（△31.0%）、「ぶり」2億4,166万円（△34.2%）、「すけとうたら」1億7,770万円（△53.3%）となっている（図7、第1表、第8表）。

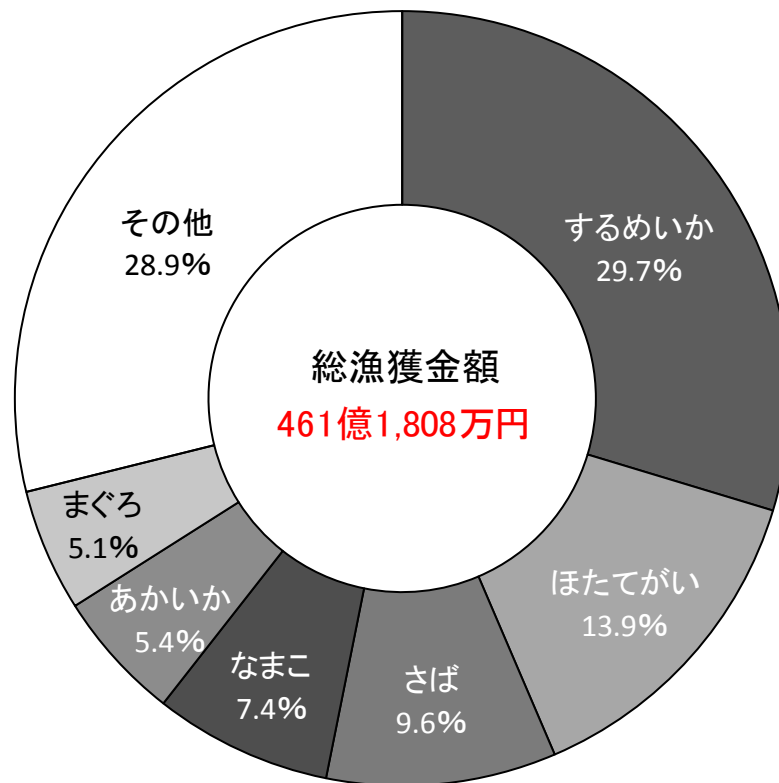


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

## 4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 漁業種類別漁獲数量

漁業種類別漁獲数量の構成比をみると、「まき網漁業」が全体の 31.5% (61,184 トン) で最も多く、次いで「いか釣漁業」23.3%、「養殖業」16.8%となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「まき網漁業」7,234 トン (13.4%)、「沖合底曳網漁業」3,596 トン (17.5%)、「採藻漁業」1,642 トン (86.5%) となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「養殖業」56,817 トン (△63.5%)、「いか釣漁業」4,047 トン (△8.2%) となっている (第9表)。

### (2) 漁業種類別漁獲金額

漁業種類別漁獲金額の構成比をみると、「いか釣漁業」が全体の 26.7% (122 億 9,051 万円) で最も多く、次いで「養殖業」14.0%、「まき網漁業」11.8%となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「採藻漁業」4 億 7,337 万円 (97.4%)、「大型定置網漁業」2 億 5,166 万円 (20.2%)、「沖合底曳網漁業」2 億 1,365 万円 (4.6%) となっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「養殖業」47 億 7,597 万円 (△42.5%)、「遠洋底曳網漁業」6 億 6,142 万円 (△84.1%)、「いか釣漁業」4 億 3,485 円 (△3.4%) となっている (第10表)。

## 5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が120,544トンで最も多く全体の62.1%を占め、次いで平内町10.3%、むつ市4.7%、東通村4.6%、深浦町2.6%の順となっている。

次に、市町村別漁獲数量を前年と比較してみると、漁獲数量が増加した市町村は、八戸市1,674トン（対前年増減率1.4%）、東通村1,445トン（19.5%）、六ヶ所村757トン（22.3%）ほか5市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、平内町19,249トン（△49.0%）、青森市16,682トン（△87.9%）、外ヶ浜町8,702トン（△65.9%）ほか11市町村となっている（図8. 第11表）。

### (2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が197億9,202万円で最も多く全体の42.9%を占め、次いで平内町11.1%、むつ市7.5%、東通村7.1%、深浦町5.4%の順となっている。

次に、市町村別漁獲金額を前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、東通村4億2,784万円（対前年増減率15.0%）、大間町2億3,693万円（17.6%）、六ヶ所村1億6,095万円（12.6%）ほか9市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、八戸市22億9,313万円（△10.4%）、青森市16億3,779万円（△68.5%）、外ヶ浜町11億6,806万円（△43.7%）ほか7市町村となっている（図9. 第12表）。

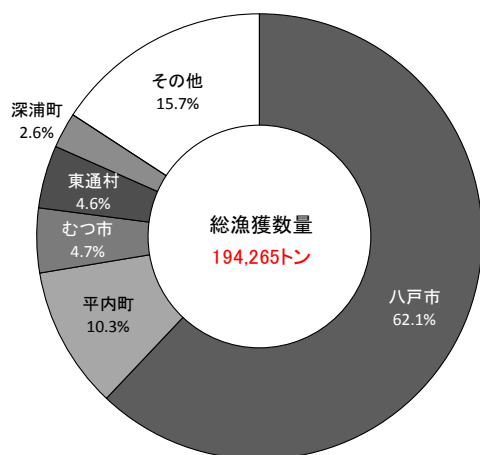


図8 市町村別漁獲数量の構成比

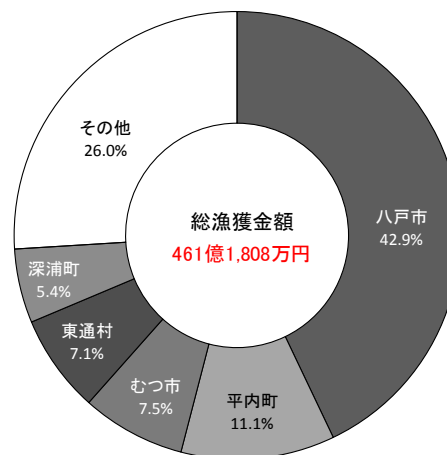


図9 市町村別漁獲金額の構成比